



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選レポート

2023/4/9 Rd-2 FUJI Speedway

天候：晴れ 気温：9°C 出走台数：22台

新型車両 SF23 とサステナブル素材配合の新ヨコハマタイヤを採用した新生スーパーフォーミュラ開幕第1大会の富士スピードウェイ。

昨日の Rd1 に続き、Rd2 の公式予選が行われた。

昨日 Rd1 予選は、専有走行が荒天によりキャンセルとなつたため 45 分の計時予選となつたが、Rd2 予選は通常通りのノックアウト方式で開催された。

雲ひとつない快晴に恵まれた富士スピードウェイで、まずは Q1 A組のセッションがスタートした。

A組 牧野選手は、ユーズドタイヤでチェックランを行い、ニュータイヤに交換してアタックへ。第1セクター、第2セクターのタイムは悪くないが、第3セクターでのタイムを伸ばせず、5番手で第2予選へ。

B組 太田選手も、まずはユーズドタイヤでチェックランを行い、ニュータイヤに交換してアタックへ。タイヤのウォームアップランを2計測したのち3周目にアタックを行う。

6番手タイムを記録し第2予選へ駒を進めるかと思われたが、走路外走行のペナルティにより当該タイムが抹消され、Q1敗退となつた。

第2予選に進んだ牧野選手は、残り時間ギリギリまで待ってコースイン。慎重にウォームアップを行い、前車との間合いを調整していたが、ライバルとのポジション取りと、チームとのやり取りに混乱が生じ、最終アタックを行うことができないまま不完全燃焼で予選を終えることとなつた。

5：牧野任祐選手 予選 12位 (第1予選A組5位 第2予選12位)

昨日の良くなかった部分に対策をして臨みました。感触はかなり向上したものの、特に第3セクターでのタイムロスは依然大きかったです。路面コンディションも良くなつて大きくタイムアップする第2予選に向けての対策としてセットアップを変えましたが、アタックのタイミングと残り時間の関係でアタックすることができませんでした。この点チームと共に改善しなければなりません。決勝へ気持ちを入れ替えて上位を目指します。

6：太田格之進選手 予選 19位 (第1予選B組 予選タイム抹消)

昨日とはセットアップを変えて臨みました。フィーリングは良くなつていて、1分22秒台前半は目指せると思っていましたが、コース外に飛び出してしまったことでタイムロスし、かつ走路外走行のペナルティとなり、第2予選に進む事が出来ませんでした。決勝に向けては少ない時間の中ですが、チームとしっかりと準備してしぶとくポイント圏内を目指します。